

パラグアイ海外邦人安全対策情報(令和5年10月～12月)

1 ポイント

- アスンシオン市やその近郊などの都市部で多発している路上強盗では、被害者が犯人グループに抵抗したことにより、銃撃され、死傷する事例が度々報道されました。
- アスンシオン市、セントラル県、アルト・パラナ県、イタプア県などで、複数の強盗犯による住宅侵入強盗が発生しました。

2 犯罪傾向と安全対策の詳細情報

以下のページ(安全の手引き)も併せてご確認ください。

https://www.py.emb-japan.go.jp/itpr_ja/anzentebiki.html

3 主な事件

- ・10月1日午後、セントラル県イタグア市内のスーパーマーケット店において、オートバイに乗った武装犯4人が店内に侵入し、所持していた拳銃を発砲して店員や客を脅し売上金を奪おうとした。現場付近に居合わせた警察官が駆けつけたため、武装犯らは現金を盗むことなく逃走した。
- ・10月12日深夜、アルト・パラナ県ミンガ・ポラ市において、オートバイに乗った武装犯2人が強盗目的で住宅に侵入した。犯行に気付いた家主が護身用の拳銃で応戦して銃撃戦となり、強盗犯1名が被弾して運ばれた先の病院で死亡し、残る1人は逃走した。
- ・10月21日正午、アスンシオン市ロマ・ピタ地区のトンネルを女性2名が車で移動していたところ、2人組の男がオートバイに乗って接近し、オートバイを車に接触させて女性らを強引に停車させた。その後男らは拳銃で女性2名を脅し、所持品を強奪して逃走した。偶然近くに居合わせた男性が自身のオートバイで追跡を試みたが、強盗犯から発砲を受けて重傷を負った。
- ・11月7日午後7時頃、イタプア県ヘネラル・デルガド市タバイ地区付近の国道1号を警備会社の現金輸送車が走行していたところ、車2台に乗った武装犯6人が現金輸送車運転席の警備員に向けて発砲した。その後武装犯は現金輸送車をこじ開けるために爆発物を使って現金輸送車を爆発させて現金を奪い、警察の追跡を妨害する目的で付近の車に火を放って逃走した。
- ・11月5日午後9時頃、イタプア県サン・ラファエル・デル・パラナ市の住宅地で、8人程の武装犯が女性とその息子夫婦が住む住宅に侵入し、車2台、携帯電話、電化製品などを強奪した。強盗犯は車に被害者全員を乗せて連れ去り、森林地帯に被害者を放置して逃走した。
- ・12月18日正午頃、アマンバイ県ペドロ・ファン・カバジェーロ市内の運送会社に3人組の武装犯が侵入し、警備員2名と職員らを拳銃で脅すと、事務所にあった売上金を強奪した。警備員らが強盗犯に発砲して銃撃戦となり、警備員2名が負傷し、強盗犯1人も負傷したものの現場から逃走した。